

新しく転入された校長先生の紹介

これから、お世話になります。地域のみなさま、よろしくお願いいたします。

学校名	職名	氏名	旧任校
大崎小学校	校長	堀内賢徳	鹿児島県総合体育センター
中沖小学校	校長	有留盛昭	錦江町立宿利原小学校
持留小学校	校長	松寄光雄	鹿児島市立向陽小学校
大崎中学校	校長	吉留雅樹	鹿児島県高校教育課 学校教育生徒指導班

※今年度、教頭先生の転入はございませんでした。

「カーボンニュートラル、地球温暖化について知ろう!」動画公開について

鹿児島県環境林務部 地球温暖化対策室が、小学校高学年向けにカーボンニュートラルの必要性や私たちにできることについて動画を公開しております。

- ホームページ掲載場所 ホーム > くらし・環境 > 環境保全 > 地球温暖化対策 > カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて > カーボンニュートラルとは何か、どのような対策が効果的かを動画で解説!
<https://www.pref.kagoshima.jp/ad02/carbon-neutral/carbon-neutralmovie.html>

まぶの窓おしの庭

No.75

持続可能な「結いのまち」大崎町

始良市立西始良小学校 校長 下吉 靖孝
(前大崎小学校校長)

知事部局の共生協働推進課に出向した時のことです。その課の仕事内容が「新しい住民自治の仕組み」を作ることでした。当時は、公民館長さんを中心に、運動会や文化祭など社会教育活動を中心に行われていました。この新たな仕組みは、自治会や女性団体、高齢者、青年団、子供会、学校、PTAなどの従来の団体に加え、企業や商店街、NPO、市民団体などその地域にあるすべての団体や個人で構成されます。教育だけでなく、福祉や防災、安全、環境(ゴミ問題等)などについて、「地域の課題は、地域で解決」を基本にした、「コミュニティ協議会」という組織となります。平成の合併が進み、コミュニティの崩壊が危惧されたことから、コミュニティの再生も目的の一つでした。合併したことで、学校の統合も進んでいま

す。「子供は地域の宝」とよく言われるように地域に子供がいなくなると、やはり地域の活力が衰えていくと思います。町内各校区は、まだ子供が多くいますが、年々減少の傾向のようです。10年後20年後を見据え、校区の活動の中で子供たちをどのように位置づけ、どのように活動させるのか考えていくことが大切です。一つのヒントとしては、従来からある子供会活動を生かすことです。地域で活動することが郷土愛を育てる一助にもなります。しかし、近年集落や子供会に加入しない方もいると聞きます。コロナウイルス感染症の影響もその要因の一つと考えられますが、回復しつつある今こそ、「地域の課題は、地域で解決」をめざし、持続可能な「結いのまち大崎町」でいつまでもあってほしいです。